

● 網代公園

あざぶあみしろちょう 麻布網代町

宝永4年(1707)、芝新網代町の一部が堀留の麻布本村分明地に代地を与えられて移転し、麻布新網代町となりました。その後、享保8年(1723)に町の東側が御用地となったため、麻布坂下町表通りに代地を与えられ、宝永4年の代地を麻布新網代一丁目、享保8年の代地を麻布新網代二丁目としました。しかし、二丁目は拝領屋敷が入り交じり、沼地等で場所が悪かったことから、享保17年(1732)、奉行所に願ひ出て河岸通りに代地を与えられました。麻布新網代二丁目が二ヶ所となり、町名が紛らわしいので、元文3年(1738)、奉行所に願ひ出て享保8年に与えられた場所は麻布新網代町地の「網」と「代」を組み合わせて麻布網代町と町名を改めました。

あざぶいっぽんまつちょう 麻布一本松町

町名の由来は、現在も植え継がれている町内の一本松よりきています。この松については源経基に関する伝説があります。それは、一本松の冠の松です。これは弁町の伝説の続きとなるもので、弁橋を渡った経基は民家に泊まりました。翌朝装束を麻の狩衣に着替えた際、装束を松に掛けました。そのためこの松を冠松というようになり、やがて一本松として語り継がれるようになったというものです。また、むかし松之宮様という京都から下った人がここで亡くなり、衣冠と遺体を埋め、印として植えたものであるという説もあります。

あざぶさかしたちょう 麻布坂下町

一本松町の台地から古川岸へおりの東の裾にあります。何の坂下かということについては、「四方に坂があるから」とするものや、「一本松坂の下だから」とするものや、「大黒坂の下だから」などさまざまです。

あざぶやまもとちょう 麻布山元町

麻布山善福寺は、天長元年(824)の起立と伝えられるので、この付近が早くから開け、家並も古くからあったと考えられます。正式に門前町屋として認められたのは慶安5年(1652)のことです。善福寺の門前町として、善福寺門前元町と呼ばれていましたが、明治2年(1869)、善福寺門前元町は麻布山善福寺の山をとって山元町としました。

あざぶひがしまち 麻布東町

善福寺の門前町で、善福寺の東側にあるため善福寺門前東町と呼んでいました。慶安5年(1652)に起立したといわれていますが、それ以前から自然発生的に門前町屋としてあったと思われます。明治2年(1869)、善福寺門前東町を麻布東町としました。

あざぶにしまち 麻布西町

善福寺の門前町で、東町と対称的に善福寺門前の西側に位置していました。宝永6年(1709)、町屋に許可され、延享2年(1745)に町奉行支配となりました。麻布善福寺門前西町と呼んでいましたが、明治2年(1869)、麻布西町としました。

あざぶみやむらちょう 麻布宮村町

むかし、麻布村のうちで、宮村と呼ばれたあたりです。宮村の名は麻布村総鎮守である氷川神社があったので、宮村といいました。氷川神社の起立は明らかではありませんが、中世以前の古社であると思われます。氷川神社の近辺は、寛文2年(1662)に御用地に召上げられ増上寺の隠居屋敷となり、社は本村に移りましたが、町名は宮村町のまま残りました。

あざぶみやしたちょう 麻布宮下町

日ヶ窪の谷間の一部で、宮村町台地の下にあります。地名は、宮村に氷川神社があった時代から、その「宮の下」という意味で呼ばれていました。麻布村のうちで、八重むぐらの茂る草地でしたが、宝永6年(1709)に幕府の表坊主および陸尺などの拝領町屋敷となり、正徳3年(1713)町奉行の支配となりました。

- Azabu'amishiro-chō**
This town started as *daichi* (a substitute land) for *Azabu'shin'ami-chō* and renamed as *2-chōme* of *Azabu'shin'ami-chō*. Finally called *Azabu'amishiro-chō*, having combined *ami* and *dai* (also pronounced *shiro*) of *Azabu'shin'ami-chō daichi*, in the 3rd year of Genbun (1738).
- Azabu'ipponmatsu-chō**
The town's name comes from a pine tree (*ippon-matsu*) which still exists in the town.
- Azabu'sakashita-chō**
Sakashita means "the foot of a slope". Some say that it is the foot of *Ipponmatsu-zaka*, or other says that it is the foot of *Daikoku-zaka*. Or it is also said that slopes are seen around the town.
- Azabu'yamamoto-chō**
This place had been called *Zenpukuji'monzenmoto-machi* meaning a temple town of the *Azabusan* (Azabu mountain)-*Zenpukuji*. In the 2nd year of Meiji (1869) the town's name was changed to *Yamamoto-chō*. "Yama" refers to the Azabu mountain.
- Azabu'higashi-machi**
This place was called *Zenpukuji-monzen-higashi* (east) *-machi* at first because there was a *Zenpukuji* temple town on the eastern side of the temple. In the 2nd year of Meiji (1869) the town's name was changed to *Azabu'higashi-machi*.
- Azabu'nishi-machi**
Located oppositely from *Azabu'higashi* (east) *-machi*, there was a *Zenpukuji* temple town on the western side of the temple. In the 2nd year of Meiji (1869) the town's name was changed from *Zenpukuji-monzen-nishi* (west) *-machi* to *Azabu'nishi-machi*.
- Azabu'miyamura-chō**
This place was a part of *Azabu-mura* village and called *Miyamura* (*miya* meaning a shrine) in the past because *Hikawa-jinja* shrine, the general village shrine, had existed here.
- Azabu'miyashita-chō**
The town was a part of Higakubo valley which was located at the foot of the *Miyamura-chō* heights. *Miyashita* literally means "below (*shita*) a shrine (*miya*)" and is said to have been so called because *Hikawa-jinja* shrine had been in *Miyamura*.

昭和20年代の港区地図



現代(平成18年)の港区地図

